

宇佐市認知症地域支援推進員 として配置されました

2012年に厚生労働省は、認知症高齢者数を約462万人と推計し、10年後の2025年には、約700万人まで増加すると発表しました。65歳以上高齢者のうち5人に1人が認知症という計算です。認知症の予備軍も含めると、3～4人に1人と考えられます。

認知症は単なる物忘れとは違って病気です。そして誰もがなりうる身近な病気の1つです。認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らしたいですね。そのためには、認知症について正しく理解し、地域全体で考え、支えあうことが大切です。

今、全国で認知症の方を支援する取り組みが始まっています。宇佐市では、宇佐市社会福祉協議会の「大久保みゆき」が認知症対策のコーディネート役として市より認知症地域支援推進員の委託を受け活動をしています。

これから、地域活動に積極的に参加し、皆さんと色々な情報交換をする中で地域・医療・介護をつなぐコーディネーターになれるよう努力していきたくと思います。よろしくお願ひします。



宇佐市認知症地域支援推進員
大久保みゆき

認知症地域支援推進員の役割

○宇佐市認知症対策の体制づくり

- ・認知症予防教室プログラムのアドバイス
- ・認知症等徘徊者搜索模擬訓練のサポート

○認知症への理解を深める

- ・認知症対応の啓発講座
- ・認知症予防の講演会

○認知症の方やその家族の方の相談支援

- ・情報提供、関係機関、市や地域包括支援センターとの連携・調整



問い合わせ先

宇佐市社会福祉協議会 本所 ☎ 33-0725

